

年次支部ニュース

第4号

特集 祝 中央大学創立130周年



年次支部協議会ブース



学生たちもパフォーマンスで盛り上げ



中央の絆

第24回ホームカミングデー《学員白門祭》開催 創立130周年を祝う白門の祭典

主催: 大学法人中央大学 協賛: 中央大学学員会

実行委員長
大木 守
(学員会副会長)



「創立130周年を起点に輝く未来を創造しよう」

これが今回10月25日に行われるホームカミングデーのコンセプトです。

年次の各支部長の皆様には、いつも大変お世話になっています。

今年は学員会の副会長として白門29会、白門34会、白門37会、白門38会、40年白門会、白門46会支部の総会に出席させて頂きました。母校を愛し、母校の発展を願う多くの人と対話し学生時代を思い出しました。

青空に大志をいただき、全国より白

門の扉を開き、最も多感な時を共に学び、語り、歌い、遊び、肩組みあって新しい時代を開こうと激動の時を過ごしたことが、つい昨日のようです。今、再び母校に集い、あの駿河の丘で見た夢を語り合い、多摩の丘で輝く青春の夢に燃え、日々汗する後輩に大いなるエールを送りましょう。

今回の特別企画では「中央大学とオリンピック」がテーマでもあります。今日まで中大のメダリストは32名がいますので、その写真展示と講演を行います。各方面から注目

されています。また、「東京が動く～白門力で東京再生を」と題して理工学部教授の山田正先生と石川幹子先生との対談を企画、更に親子で楽しめる新しい催しも多所に展開されます。

今年は創立130周年の特別な年です。実行委員長として、一人でも多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

さあ、武蔵野の秋の一日を、学生時代そのままに、語ろう、歌おう、輝こう！

第24回 ホーム



多摩キャンパス校舎全景

開催日時 2015年10月25日(日) 9時～16時

開催場所 中央大学多摩キャンパス

開会式 10時～11時30分
9号館〔クレセントホール〕

- 創立130周年記念論文コンテスト表彰
(「中央大学の未来へ～私の提言」)
- 親子三代卒業生表彰(直系三代卒業生の表彰)
- 新年次支部結成(2015)・支部旗贈呈式
- 中央の絆(学生会各支部が幟旗を掲げて壇上に大集合)

記念企画 **【講演】中央大学とオリンピック**
13時30分～14時30分
8304教室

- 挨拶／遠藤利明五輪担当大臣(昭和48年卒)
- 講演Ⅰ／木村憲治氏(昭和43年卒)
- 講演Ⅱ／秋山俊行氏(昭和52年卒)
雑賀 真氏(昭和53年卒)

【対談】東京が動く～白門力で東京再生を～

12時30分～13時30分
8303教室

- ◆ 山田 正教授
- ◆ 石川幹子教授



春風亭朝也

【落語】寄席の世界を楽しむ
12時30分～14時30分
1406教室

- ◆ 柳家小団治(昭和42年卒)
- ◆ 桂 やまと(平成11年卒)
- ◆ 春風亭朝也(平成14年卒)
- ◆ 林家つる子(平成22年卒)

みんなで走ろう！タスキリレー 13時～14時30分 陸上競技場

福引大抽選会

- 三角くじ抽選会／11時～14時40分
- 特賞抽選会／15時～メインステージ
《特賞》スズキ「軽自動車」2台 他バイク、テレビ、カメラ、商品券等
景品多数

年次支部出店案内

白門39会

来年サミット開催予定伊勢志摩の名所の一つ、二見浦夫婦岩の前で明治時代より営まれる「くうや勸助餅」はもち米の旨さとし餡を仕込んだ逸品。是非ご賞味あれ！！
(伊勢志摩地方では慶弔菓子で有名)

42年白門会

隠岐の島観光大使・池田久男氏「隠岐の島の海産物を食べて血液サラサラに！」他
青森のヒノキ彫、モンゴル岩塩、ニンニクなど種類豊富

白門44会

①白門りんごの会
(青森県さんのへ梅内組合)
●今が旬青森さんのへりんご

②学員日華友好会
●台湾に桜を植樹

白門48会

中村屋カレー販売
1コインで
中村屋オリジナルカレーを！

ホームカミングデーに寄せて

白門40年会「創立20周年・卒業50周年」を迎えて

白門40年会 会長
佐々木 幸男

白門40年会は中央大学創立130周年の年に「創立20周年・卒業50周年」を迎えるという偶然に恵まれ大変嬉しく思います。

振り返りますと「第1回中央大学ホームカミングデー」が平成2年11月18日に多摩キャンパスで開催されましたが、昭和40年卒業の私達が卒業25周年に当たると言う事で招待されました。大勢の仲間と集い、懐かしい話に花を咲かせました。

これが切っ掛けとなり、平成7年学会の要請により年次支部として同期会結成の呼びかけを始めたのが白門40年会発足のスタートでした。

過去の記録を見ると第1回の準備委員会で集まった同期生は僅か5名でしたが、最終的には70名の準備委員会となり、平成8年5月11日に創立総会を駿河台記念館で開催し産声をあげました。

それから、時は流れ「創立20周年・卒業50周年記念祝賀会」を今年4月

18日(土)新宿京王プラザホテルに於きまして開催させていただきました。お蔭様で久野学会会長・酒井総長/学長・大村常任理事をはじめ35名のご来賓をお迎えして盛会のうちに終了することが出来ました。あらためて、関係各位に感謝申し上げます。次第でございます。

それともう一つ、学会主催の「第1回支部会報コンテスト」に於きまして白門40年会が図らずも最優秀賞に選ばれました。創立20周年を迎えている時に、これ以上の喜びはありません。会員一同、この喜びを分かち合い今後の40年会の推進力にして行かなければならないと考えています。本当にありがとうございました。

尚、今年の「第24回ホームカミングデー」の特別企画として「卒業後50年学員懇親会」を実施していただき、大変ありがたく併せて感謝申し上げます。

よみがえる卒業式から25年

よみがえる卒業式「タイムスリップ20年」(平成2年3月)からはや25年が過ぎた。学園紛争のあおりで卒業式が中止になった昭和44年・45年卒業生の為に20年ぶりに多摩校舎で行われた。9号館2000席・立ち席も満席となり、あふれた卒業生は8号館のモニターで参加し、当日は約4000名強の卒業生や家族でキャンパスは熱気に包まれていた。一人の卒業生の提案が内外に大きな反響を呼び新聞・テレビ等のマスコミがこぞって好意的なニュースとして報道していた。

一人の卒業生とは恥ずかしながらこの私である。あらためて「大学の英断と思ひやり」に感謝申し上げる。

当時、母校の低迷を聞かされていたが、大学が主体性を持って、思い切って、大胆に、そして、結果を恐れずに、このような施策を次々に実行すれば、母校の限りない発展が継続していくと話していたことを思い出す。

よみがえる卒業式を機に、両年度を合わせた同期会の発足を提案し、入会者募集をしたところ、当日を含めて約700人強の申込みがあり、その反響の大きさに驚いた。

平成3年、白門44・45会支部として承認され、以降両年度一つの同期会として活動していたが、途中、平成7年に44・45会を発展的に分離独立し今日に至っている。兄弟支部として、総会は別々に実施するが、行事等の諸活動は、いまだに幹事役を毎年交替するなどしながら、和気藹々、仲良く一緒に行動している。当初の白門44・45会支部旗は懇親



今年4月に行った「創立20周年・卒業50周年記念祝賀会」

ホームカミングデーへの思い

白門44会 会長
松木 茂夫



25年前に行ったよみがえる卒業式

会などの時に両年度の絆のシンボルといまだに活用している。

よみがえる卒業式が直接のキッカケとなったかどうかは判らないが、大学・学会が卒業生に向けた第一歩の施策として、卒業25年・卒業50年目の卒業生を招待して、ホームカミングデーを充実させる等、多方面に影響を与えたことも事実である。

以降、毎年開催されるホームカミングデーにて年次支部が発足し、今では白門26会支部から今年卒業生した最若手の2015年白門会迄が繋がり63支部となっている。

大学にとっては、耳の痛い話だと思うが、大学は寄付を募る時だけ卒業生に連絡してくる。他には何もしてくれないとの話をよく聞くが、このホームカミングデーは、卒業生を母校に呼び戻し、また、卒業生にとっても母校を再認識する絶好のチャンスでもあると考える。折しも今年のホームカミングデーは大学創立130周年を祝う特別な学員白門祭である。

学員・教職員が全員一致協力して成功させたいと思う。

中大の噺家さんの「オメデトウ!!」のために…

白門57ネット
浜田 英明

年次支部「57ネット支部」では、13年前の設立当初より、同期生に三遊亭竜楽師匠(57年・法学部卒)がいらっしやることにより、不定期ではありますが中大駿河台記念館の一室を借りまして十数名程度のこじんまりとした落語会を開催してまいりました。

振り返ってみると57ネット支部は、毎年開催されるイベントの中に「落語」が要所要所で開催されてきた支部であったと思います。

昨年、大学広報誌「HAKUMON CHUO 2014年早春号」を何気なく眺めていると、桂やまと師匠の記事が目にとまりました。タイトルは「中大落研初の真打昇進・中大で出会い中大から夢を叶えた。…才紫改め桂やまと師匠」。

これは、目出度い!! この「オメデトウ!!」の気持ちを57ネットだけではなく、より多くの先輩の皆様、後

輩諸君と分かち合いたい。この気持ちを初めて実現できたのが昨年の9月。本年7月には春風亭朝也さんのNHK新人演芸大賞受賞の快挙の「オメデトウ!!」を開催しました。

昨年・本年ともに、年次支部協議会の絶大なるご支援のもと、多くの

年次支部と出版白門会、地域支部、中大広報室、落研の皆さまにご参加いただき、中大駿河台記念館でしかできない落語演目披露と、また懇親会では宴席での即席高座によるネタ出しを楽しむことができました。

「落語」がこんなにも中大の先輩・後輩を結びつけるものとは思わなかった。…これは参加された皆さんから頂いた言葉の一つです。57ネット支部は、「落語の57、57と言えば落語」をスローガンに、これからも中大の噺家さんの「オメデトウ!!」を見つけては、年次支部協議会のご支援を頂きつつ、「中大(駿河台記念館)の、中大生による、中大生のための落語」を実現していきたいと思っています。



今年7月に行った春風亭朝也NHK新人演芸大賞受賞「オメデトウ!!」祝賀会

10月25日、中大多摩キャンパスでの「創立130周年を祝う第24回ホームカミングデー」では中大卒の噺家さんが4名お揃いで寄席の世界を演出してくれます。「笑いからはじめよう白門ファミリーの輪」を是非お楽しみください。

海外支部だより

「海外支部長会議」報告

モンゴル支部
(57ネット)東谷 由香

大学のグローバル化への各種取り組みに対応して、初の「海外支部長会議」が5月15日(金)、中央大学駿河台記念館にて開かれた。

出席者は世界16支部のうち14支部から、及び設置申請中の支部と留学生同窓会からの参加者を含め、総勢16部33名を数え、予定時間を超えて3時間半に亘る白熱したミーティングとなった。午後は昼食会を挟み、全国支部長会議、翌16日は学員総会へ出席し、参加者にとっては熱い思いと海外から見た提言を投げかける機会を頂き、今回の大学の英断に心より感謝申し上げたい。

出席支部は以下の通り。ニューヨーク、シカゴ、ロサンゼルス、シンガポール、バンコク、ジャカルタ、ロンドン、韓国、香港、上海、インド、台湾、新設のバンクーバー、モンゴル、中国人留学生支部、コリア同窓会。因みに韓国支部は韓国同窓会という名称時から数え、今年100周年を迎えた。

大学側からは、副学長・国際センター所長の武石智香子先生、大村雅彦常任理事、松丸和夫常任理事にもご出席いただき、大学の現状と取り組みについて初めて知ることも多く、意見交換は大変有意義なものとなった。

今回、数年ぶりに帰国した人も多く、待ちきれない思いが募ったのか開始の1時間前にはほぼ集合し、名刺交換大会の様相を見せて、和気藹々とした雰囲気を作られた中で会議は始まった。進行役の沼本光史氏から、自己紹介及び支部の取り組み紹介を、と促されたが、最初から母

校への熱い思いが溢れ出て、海外から見た提言が活発に意見交換された。

共通して各支部から挙がった意見として、「国内の他大学との比較・競争など意味が無い。アジアの中央大学を目指すべきだ」というものであった。各国で大学教員職に就いている参加者も多く、学生が選ぶ大学基準及び留学先の基準等の見解を示しながら、日本の教育方法が10年後には世界で通用しなくなるという見解が示された。母校中央大学の「グローバル化」の取り組みについて上がった要望は、「外国への大学窓口の設置」「他大学との更なる提携・単位交換、オンデマンド授業の開始」「英語授業の充実」「セメスターの変更」「留学生寮の設置」「留学生フェアの開催において、現地の視点を理解している支部メンバーに任せた方が効果的」「キャリアセンターに海外経験のあるOBを活用」「海外に付属高校を設置」等であった。また、中央大学は「苦学生のための中大」というニーズキャッチができる先端大学だったはず、日本の中央大学に来なくても海外の大学で単位が取れる制度を作るというグローバル・ニーズに対応する方法があるのではないかという意見も挙げられた。

各海外支部では、独自にインターンシップを受け入れる活動を行っており、後輩の活躍を助けたいという純粋な想いで毎年支援をしている。会員の私財によって支援活動が行われているという点を、学生にも理解してもらい、明るい未来に向けて教育支援を継続できることを願っている。本会議を契機に、海外支部間の連携を強化し、海外で活躍する数多くの学員と、これから世界で活躍する学生の拡充に向けて「白門の輪」を広げることを確認し合った。

英国で書道と武道

ロンドン支部
エアーズ由希子

わたくしは書道家の弟子ですが、英国には、すでに書のプロという方々がいらしたので、英国で、書道の仕事を頂けるとは考えていませんでした。自ら働きかけた訳ではないのですが、沢山の縁を頂き、英国のみならずヨーロッパ、そして、日本からも書道の仕事で呼んで頂けるようになりました。今年から、ケンブリッジ大学でも書道の講座を持たせて頂いています。

振り返ってみると、決して、自分の力ではなく、いつも支えてくださる方々がいらっしやるお陰です。

初めて、英国で、書の展示協力を求められた時、書の腕前よりも重視されるのは、バックグラウンドでした。

「どこの誰だかわからない人に、仕事を頼む訳にはいかない」

この事は、日本にいても同じでしょうが、海外だからこそ、より重視されるように感じました。幸い、初めてオファーを頂いた時には、剣道をしている縁で、話がまとまりました。仮名文字で軸、色紙、短冊の作品を仕上げ、ヴィクトリア・アルバートミュージアムの隣の教会に展示されたのですが、その書を気に入ってくださった方から頼まれ、英国で書道を教える事になりました。

その後、各方面から声をかけて頂くようになりました。初めての英国以外での仕事は、ベルリンで、書の紹介、揮毫をするというものでした。

オファーをしてくださった方は、ロンドンで活躍されている中央大学の先輩の知り合いでした。

去年は、ポーランドのMangha

委員会活動報告

年次支部協議会委員会の主な活動報告



エアーズ由希子さん



英国での書道指導

museumで揮毫をする機会を頂いたのですが、英国白門会の先輩が、私を関係者に推薦してくださいました。

英国人との結婚が決まった時、海外での生活が不安で、犯罪学のゼミでお世話になった、藤本哲也先生に相談しました。

「英国には白門会があるから、連絡してみなさい。きっと、先輩方が力になってくれるから」

その言葉を胸に、英国白門会の門を叩いたのですが、藤本先生がおっしゃったように、先輩方が力になってくださったお陰で、貴重な経験をさせて頂く事ができ、感謝しています。

英国では、書道の他、剣道、居合道、杖道の稽古もしています。英国で初めて筆を持ったのは、剣道大会での書を頼まれたのがきっかけでした。その時の書の評価がなかったら、英国で、書道の仕事を頂く事はありませんでした。英国剣道連盟からも書の依頼を頂き、感謝の気持ちで筆を持っています。

今後も、書道、武道の稽古を続け、精進したいと思います。

◆国際交流センター取組みへの協賛(大学支援委員会)

東京の大学18校で構成された文部科学省主催の「GO GLOBAL JAPAN」の英語リサーチプレゼンテーション大会の学内選考(テーマ「アジアそして世界の未来を創る協働プロジェクト」)が10月10日多摩キャンパスGスクエアで開催され、年次支部協議会として表彰景品(図書券)贈呈の協力支援実施。

◆学員会準会員サービスの一環として2015新卒業生全員に年次支部ニュース会報第3号を発行・配付(広報部)

◆HP未設置支部への働きかけ、HP掲載内容の更新(IT推進委員会)

◆箱根駅伝応援用横断幕を制作・設置(スポーツ応援委員会)

◆卒業船上パーティとホームカミングデーでの新支部設立の協力支援(学員交流委員会)



応援横断幕

◆進路相談(学生支援委員会)

3月後楽園キャンパスに於いて、社会人(協力者)25名と就職活動生100名程度の進路相談会開催、南甲倶楽部とのコラボレーションにより実現した中央大学OB/OGによる基調講演を実施。11月14日多摩校舎にて進路選択支援企画(案)や外国人(留学生)進路相談を開催予定

新規会員の参加を歓迎します!!

各年次支部は、同期会の集まりで大学、学員会会員との繋がりで活動しています。

▶スポーツ応援「陸上・水泳・野球・ラグビー他」(箱根駅伝の応援、東都大学野球応援、オリンピック選手などの応援ほか)

各年次支部の活動…好みの活動に任意に参加ができます。

▶会員間のビジネス交流で人脈の拡大、更に先輩・後輩との繋がりを醸成

▶趣味の一致で、幅広い交流とコミュニケーションの充実

▶同期生の各職専門家との交流で、信頼感をもって問題解決への導きを図る

▶講演会、セミナーなどへの参画により自身の教養などを向上させる

《加入などの問い合わせ》学員会事務局：03-3219-6175

活躍する学生



徳永選手



町澤選手

【文化活動】

●音楽研究会：混声合唱団第52回定期演奏会開催報告 9月21日に杉並公会堂にて。

演奏曲はJ・S・バッハ作曲の「ヨハネ受難曲」で、キリスト教の重要なテーマであるイエスが捕えられ十字架で処刑されるまでの受難の物語を描いた重厚な作品である。歌詞はドイツ語であり、合唱の他にも独唱者やオーケストラを伴う2時間にもわたる壮大な作品であった。中大混声合唱団は学生といえども1951年に設立以来、主にバロック音楽・古典音楽の宗教大曲を題材に作曲家の意図を忠実に再現することを基本理念とした音楽活動に取り組んでいて、授業の合間にはドイツ語の発声練習や、キリスト教理解の為に聖書を読んだりすることも取り入れているそうだ。

今春、中大混声と28年間もの月日を共にしてきた音楽監督・指揮者の白石卓也先生が急逝されたことによる衝撃で、団員の心はいかばかりであろうかと案じられたが、先生へのこれまでの感謝の想いを届ける鎮魂歌のごとく、心の底に響く素晴らしい合唱であった。感動がいつまでも冷めやらないまま暫く誰も席を立

とうとしなかったことが練習成果を物語っているようだ。

次回演奏会は12月19日(土)開演14:00~オリンパスホール八王子で開催予定。曲目はハイドンの【天地創造】、奮ってご参加下さい。

●音楽研究会吹奏楽部：第55回東京吹奏楽コンクール「銀賞」受賞

●2015.7.6 棋道会吉本悠太さん(商4)が第28回アマチュア竜王戦で初優勝

【資格試験】

●2015.9.8 平成27年司法試験合格者発表 本学法科大学院より全国最多の170名が合格

1位 中央大学 170名

2位 慶応大学 158名

3位 東京大学 149名

4位 早稲田大学 145名

5位 京都大学 128名

●2015.7.31 国家公務員総合職試験合格数発表

全大学で7位、私立大学では3位

【スポーツ】

●2015.9.11 陸上競技部：全日本インカレ

10000mで徳永照さん(経4)が4位(日本人1位)同レースで町澤大雅さん(法3)が20位

●2015.9.14 陸上競技部：第84回

日本学生陸上競技対校選手権大会・男子4×100mリレーで三連覇達成

●2015.9.14 女子陸上競技部：ヘンプヒル恵さん(文1)が第84回日本学生競技対校選手権大会・七種競技で初優勝

●2015.9.9 バレー部：エース石川祐希さん(法2)がバレーボール・ワールドカップ(W杯)に初出場

●2015.8.31 射撃部：第11回日本学生選抜ライフル射撃選手権大会女子団体総合優勝

●2015.7.13 諏訪 達郎さん(法3)と谷口耕太郎さん(商3)が第28回ユニバーシアード競技大会・男子4×100mリレーで金メダル獲得

●2015.7.10 水泳部：砂間敬太さん(法2)が第28回ユニバーシアード競技大会・男子200m背泳ぎで銀メダル獲得

●2015.7.13 同砂間敬太さんは男子400m個人メドレーでも銅メダル獲得

●2015.7.9 重量挙げ部：笠井武広さん(商4)が第75回全日本ウエイトリフティング選手権大会・69kg級にて初優勝

編集後記

▶年次支部協議会が「留学生の集い」を目玉の活動イベントとしていた時代から生まれ変わり、ホームカミングデーに新年次支部設立をした新学員を参集することで、年次支部の新

たな繋がりがようやく芽生えてきた感があります。

▶中央大学の歴史の中で、今は逆境の時代のようにも言われますが、辛抱強く耐え抜いて勝利を勝ち取っていく学生諸君も多くおります。新し

い時代に対応できる強い中央大学を、50万会員の知恵と勇気と英断を持って支えられる一役を担えれば幸いです。

(年次支部協議会副代表)

広報部長 佐藤愛子 S48卒)

《年次支部ニュース 第4号》 2015年10月10日 発行

発行者／中央大学学員会年次支部協議会
発行人／松木 茂夫
編集／年次支部協議会広報部

〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台3-11-5 中央大学学員会事務局気付
TEL 03-3219-6175
印刷所／(株)ディスカバリー